２０１７年（平成２９年）７月２３日　日曜日
デーリー東北新聞　１２面　掲載

第99回全国高校野球選手権
青森大会

甲子園へ 熱戦佳境

きょうから準々決勝

第99回全国高校野球選手権青森大会は23日、弘前市のはるか夢球場で準々決勝2試合を行う。激戦を勝ち抜き、8強に名を連ねた強豪校の、甲子園を懸けた熱い戦いが佳境を迎える。

対戦カードは23日が青森山田―東義、弘前東―弘学聖愛、24日は青森東―工大一、八学光星―青中央。ノーシードから勝ち上がった青中央と東義のほか、春季も8強で地力のある弘前東と青森東が、春季県大会の覇者青森山田、準V聖愛、3位光星、4位工大一に挑む構図となった。

準々決勝を目前に控えた22日、聖愛と弘前東を除く6校が、はるか夢で公式練習を実施し、人工芝の感触を確かめた。

工大一は一時大粒の雨が降る中、守備練習で調整。菊池佑威主将は、人工芝でのボールのはね返りなどを確認し「ある程度想定通り」と落ち着いた様子。「8強以上は、より基本に忠実なプレーが大事。取れるアウトを確実に取り、バントも絡めて得点したい」と意気込んだ。

光星も守備練習を中心に行った。投手の福山優希は、改修後のはるか夢に立つのは初めてだといい、「（宮城県が舞台だった）春季東北大会で人工芝の感触はつかんでいる」と準備は万全。吉田大樹主将も「球場移動後の1試合目は大事。自分たちの野球で勝ち、勢いづきたい」と闘志を燃やした。（金濱千優希）

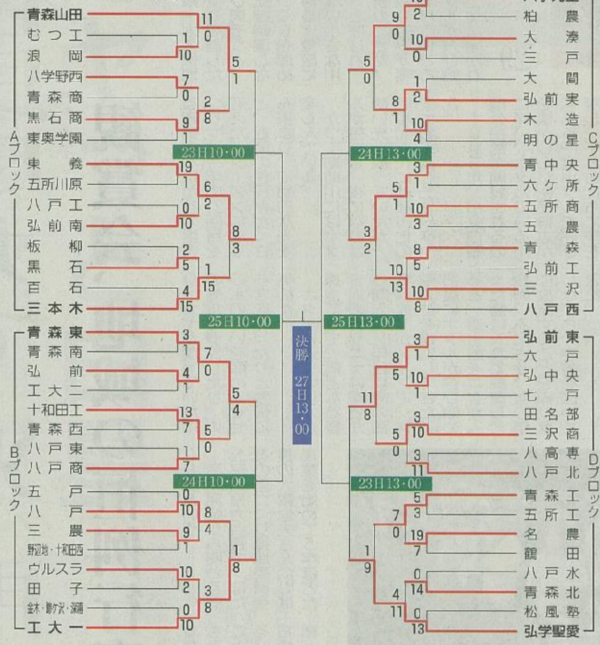
きょうの試合

【弘前市はるか夢】
▽準々決勝
青森山田―東　義（10・00）
弘　前　東―弘学聖愛（13・00）

試合速報

青森大会準々決勝までの勝ち上がりと今後の日程

（参加校＝63チーム　太字はシード）


Aブロック
青森山田
むつ工
浪岡
八学野西
青森商
黒石商
東奥学園
東義
五所川原
八戸工
弘前南
板柳
黒石
百石
三本木
Bブロック
青森東
青森南
弘前
工大二
十和田工
青森西
八戸東
八戸商
五戸
八戸
三農
野辺地・十和田西
ウルスラ
田子
鉄・鰺沢・深浦
工大一
23日10・00
25日10・00
24日10・00
決勝 27日13・00
24日13・00
25日13・00
23日13・00
Cブロック
八学光星
柏農
大湊
三戸
大間
弘前実
木造
明の星
青中央
六ケ所
五所商
五農
青森
弘前工
三沢
八戸西
Dブロック
弘前東
六戸
弘中央
七戸
田名部
三沢商
八高専
八戸北
青森工
五所工
名農
鶴田
八戸水
青森北
松風塾
弘学聖愛

※準々決勝以降の会場＝弘前市はるか夢

準々決勝見どころ

光星 投手に安定感

光星―青中央

投打にバランスの取れた昨夏の覇者・光星に、好投手三浦凌央を擁する青中央が挑む。

光星は3回戦までに4投手がマウンドに上がり、2失点と抜群の安定感を誇る。打線は小掛智輝弘、近藤俊太らが5安打と好調だ。3回戦は横投げ投手に苦しんだが、終盤で突き放す勝負強さを見せた。

青中央は3回戦で三沢との延長を制し、勢いがある。三浦凌央は3試合計28回を投げ2失点。伸びのある直球と鋭い変化球を駆使して相手打線を打ち取る。連投の中、強打の光星打線をどこまで抑えられるか。

総力戦で挑む

光星・仲井宗基監督　どのようなタイプの投手にも対応できるよう打撃を調整する。投手も含め、総力戦で挑む。

低く強い打球意識

光星・吉田大樹主将　投手が奮闘し、チームを引っ張ってくれている。打撃は低く強い打球を意識し、先行する展開にしたい。

全力でぶつかるだけ

青中央・米田智監督　バッテリーがどれだけ抑えられるかが勝負を左右する。相手は強豪校なので全力でぶつかるだけ。

最少失点で抑える

青中央・上久保丈主将　持ち味である粘り強さを発揮し、投手を中心に最少失点で抑える。好機を逃さずものにしたい。

デーリー東北新聞社提供